



城南坂

校長だより No.19
R7. 7. 11(金)
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りをもち 主体的に行動する生徒の育成」

「感情リテラシー」を高める

7月も中旬を迎え、いよいよ来週末から土日も含め37日間の長い夏休みに入ります。城南中生全員が事故なく安全に過ごすこと、そして一人一人が学習面、生活面、部活動やクラブでの活動等で目標をもち、その達成に向け着実に力を付けられるよう毎日を有意義に過ごしてほしいと願っているところです。

さて、先週末にあきた芸術劇場ミルハスで行われた**秋田県吹奏楽コンクール中央地区大会**で、**本校吹奏楽部が見事金賞に輝き**、7月31日(木)に行われる**県大会への切符を手**にしました。県大会ではさらに磨き上げた演奏を披露してくれるものと期待しています。

話は変わりますが、少し前のニュースで、高校生による祖父母の殺害事件や中学生による通り魔事件など若年者による凶悪犯罪が報じられ、とても心を痛めています。犯行動機もよくわからない理不尽な凶行に怒りを禁じ得ないと同時に、子どもの教育に携わる者として、何かできることはなかったのだろうかと考えさせられました。こうした報道を受けて4月16日にNHK総合テレビで放送されたクローズアップ現代「『ヤバい・エグい』は危険!? 注目される感情リテラシー」という番組を思い出しました。番組内で、闇バイトの実行犯として逮捕され服役中の男性がインタビューに応じた内容を番組HPから紹介します。

「被害者の家に行って通帳を受け取り銀行に行き、お金をおろすという『出し子』をしました。単なる1つの作業としか思っていなかったのも何も思っていないです。感情はないです。自分は9回したんですよ、それを。でも本当、何も思わなかったですね。結果を知っていても別に何も思わなかったです。小さいころから、自分の感情を押し殺してきましたね。何も感じないというよりは、人の気持ちが分からなくなってくるんです。うわべの会話だけしてました。喜怒哀楽、考えたことない。ちゃんとした表現力もなく、丸まる全部『ヤバい』としか言葉を出していない。今回の事件も人に申し訳ないという気持ちも浮かばなかったです。指示役から強盗しなさいと言われたら普通にしていましたし、人を殺せと言われたら殺していました。たまに自分が怖くなります。4回目ぐらいのときに、指示役から『楽しいか?』って聞かれたんですけど、自分は楽しいとか楽しくないとか感じていないし、ただこなすだけだったので、『特にないです』としか答えていません。」

また闇バイトのリクルーターとして15人以上もの若者を実行犯として勧誘した19歳の若者は、「若者の弱みにつけ込む勧誘のマニュアル」があり、その内容と自身の感想を次のように話していました。

「マニュアルの内容は、①闇バイトで重要なのは受け子・出し子との「信頼関係」②傾聴して悩みや弱みをとことん聞き出し、こちらの話は一切しない③「さみしかったんだね、つらかったんだね」と相手が言葉にできなかった感情を言語化し安心させる。電話したときに『ちょっと最近どう?』『学校は大丈夫ですか?』と、こちら側が聞くことに徹する感じで。自分の今の気持ち分かってほしいとか、つらいけど誰にも理解されない、だけど自分からは絶対言えないみたいな今の自分を言語化できていない子は、すごい感情をコントロールしやすいっていうか。こちらでいういいかも。本当におもしろいくらい、こっちが親身になって相談とかのってあげるとホイホイついてくるっていうのは、つくづく思いますね。本当びっくりするぐらいみんな引っ掛かりますね。もう顔も名前も分かんない相手に、よくこんなことをこんなに話すんだなって思ったので、本当によっぽど周りに相談できてなかったんだと思いますね。」

番組では、若者が闇バイトに応募してしまうという背景に、自分の感情に気付けない、感情をうまく表現できない、共感することが難しいなど、自分の気持ちをコントロールする「感情リテラシー」の乏しさがあるのではないかと、そしてその要因として、スマートフォンの普及に伴うコミュニケーションのデジタル化により、**定型化された短語での文字媒体のやり取りにより語彙力が低下したり、家族や友達が集まっても、みんなスマホの画面を見ているといったライフスタイルにより、お互いの気持ちの深いところまでコミュニケーションを図れていなかったりすることが考えられるのではないかと分析していました。**

自分の気持ちをしっかりと言語化することはとても大切です。昔から「**大事なことは面と向かって話すことが重要だ**」と言われてきました。みなさんもスマホに頼らず、家族や友達と直接話をする中で、**自分の気持ちを素直に表現すること、そして相手の気持ちを察することを習慣化して、自らの感情リテラシーを高められるように努めてください。**